

ビジネス専攻科 研究課題 参考事例

ファッション専攻 FC

FC・①	題材	企画職に必要な確かなパターンメイキングの習得
担当教師 鷲尾	取組内容	<p>1.2年次では、習得しきれない確かなパターンメイキングとして、素材に対してのシルエット出し、立体裁断と平面裁断を併用したパターン技術の習得。生産効率を踏まえ縫製分析やクオリティーを考慮し尚且つ縫う側の第三者が把握出来る工業用パターン、仕様書、縫製指示書の作成を習得する。《制作課題》スカート・ワンピース・ブラウス・ジャケット 各課題作品の制作を通して</p> <p>①立体裁断と平面裁断を併用したパターンで素材に対してのシルエット追求 (使用素材に近い風合いでの半身、両身トワルでのシルエット出し)</p> <p>②トワルを的確に平面に落とし、生産効率、クオリティーを考え工業用パターン作成</p> <p>③生産されるデザイン、縫製工程が把握出来るフォーマットと仕様書 (製品図、寸法、縫い代、芯貼り箇所、パーツ数、付属、用尺記入欄記載) 縫製指示書(仕様図解)の作成</p> <p>④自分のパターンでは無く3年生内で違う人のパターンからサンプル制作し、お互いにパターン仕様書の改善、追及。</p>
	参考資料等	・1.2年次使用教科書、「パターンメイキングの原理」株式会社アミコなど
	完成形	<p>・各制作課題、スカート・ワンピース・ブラウス・ジャケット各1型 工業用パターン、仕様書、縫製仕様書提示、サンプル制作</p> <p>・3年間で学んだ理論と実技の集大成として作品を研究創作させ、制作展でショーで発表</p>

FC・②
担当教師
鷲尾

	題材	素材別、縫製の高度テクニックを学ぶ
	取組内容	<p>素材やデザインによる縫い方の違いや、効率よく縫うための順序など、実際に服を縫っていくことで縫製のさまざまなテクニックを身につける必要があります。</p> <p>また、ファッションの歴史から伝統的なシルエット、技法を研究。</p> <p>服の魅力を最大限生かす装飾手芸についてもデザイン力と技術力を深く追求する。</p> <p>①2年次で学ぶ素材の特徴を更に追求して綺麗に裁断、縫いの扱いをする。</p> <p>②ファッションの歴史を知り、シルエット、技法の追求</p> <p>③イブニングやステージドレスなどの分野で用いられるビーズやコード刺繍など、装飾手芸の基本的テクニックを習得</p> <p>④テーマを決めハイクオリティな作品の製作に取り組む</p>
	参考資料等	西洋服装史、素材論などの各教科書
	完成形	<p>①ファッションの歴史、装飾技術を加えた作品1点制作。 テキスタイルテクニックの見本を作り、デザインとのポートフォリオ制作 (テキスタイル見本作成MAP、テキスタイル見本含む4P以上)</p> <p>②3年間で学んだ理論と実技の集大成として作品を研究創作1点 テキスタイルテクニックの見本を作り、デザインとのポートフォリオ制作 (テキスタイル見本作成MAP、テキスタイル見本含む4P以上)</p> <p>※①、②縫製工程が把握出来るフォーマットと仕様書、縫製指示書の作成して作品制作</p>